

## 第6回庄原市行政評価委員会 会議録（摘録）

1. 開催日時 平成29年11月7日（火）  
開 会：13時30分  
閉 会：14時22分
2. 開催場所 庄原市役所 5階 第3委員会室
3. 出席委員 石川芳秀 委員（委員長） ・ 清水孝清 委員  
荒木和美 委員 ・ 齋藤万由美 委員  
檀上理恵 委員 ・ 水戸美代子 委員
4. 欠席委員 若林隆志 委員
5. 出席職員 総務部 行政管理課 課長 山根啓荘  
総務部 行政管理課 行政管理係長 下森一克  
総務部 行政管理課 行政管理係主任 横山敬之  
総務部 行政管理課 行政管理係主任主事 川島球花
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

## 第6回庄原市行政評価委員会次第

平成29年11月7日（火）13:30から  
庄原市役所 5階第3委員会室

1. 開 会

2. 委員長あいさつ

3. 総括意見の集約

(1) 消費生活相談員設置事業

資料1

(2) 光のまち庄原実行委員会補助金

資料2

(3) 備北観光ネットワーク協議会負担金

資料3

4. 今年度の評価まとめ

資料4

5. 閉 会

## 会 議 経 過

### 1. 開 会

### 2. 委員長あいさつ

今回、最後の委員会となりました。昨年の夏に補職いただき、皆様方に支えられ2年間委員長を務めて参りました。最後の委員会となりますが、みなさんよろしく申し上げます。

### 3. 総括意見の集約

#### (1) 消費生活相談員設置事業

資料1

##### 総括意見

##### 評価：現行どおり

消費形態の多様化、詐欺まがいの勧誘や悪質な商法の巧妙化のため、安心して相談できる相談員の設置は必要であり、現行どおりとする。

なお、本市では、消費生活センターのある本庁舎から離れた地域も多いため、相談員が地域に気軽に外向いていける体制の整備等を検討していただきたい。

また、今まで以上に分かりやすい広報や、消費生活センターの安定した開設のための相談員の人材確保、相談対応のレベル向上にも取り組まれない。

#### (2) 光のまち庄原実行委員会補助金

資料2

##### 総括意見

##### 評価：終了

本事業の目的は、国営備北丘陵公園ウインターイルミネーション開催に伴う市街地への観光客誘導を促進することであるが、目的に対して事業の効果が少ないため、本事業は終了とする。

ただし、まちなかでのイルミネーションについては、本事業の関係団体や地域住民に対して、市内の他の地域で実施している地域ぐるみの取り組みの手法を情報提供するなど、配慮した対応を行うこと。

#### (3) 備北観光ネットワーク協議会負担金

資料3

##### 総括意見

##### 評価：その他の見直し

両市の負担金の約半分が人件費となっている現状では、本事業の目的である広域的な観光推進に、最大限の効果を発揮しているとはいえない。一市のみでは取り組みが難しい広域的な観光推進について、貴重な予算を最大限に活かせるような事業への見直し及び観光協会等との連携による効率的な事務局運営形態の検討をされたい。

なお、協議会の収入において、両市の負担金がほぼ同額であることから、事務局員構成や事業効果、広告掲載等について、均衡がとれるような配慮も必要と思われる。

委 員：「事務局運営形態」との表現と「事務局構成」という表現の使い分けはあるのか。

事務局：「事務局運営形態」は、現状のように事務局長1人とパート1人の計2人を配置するやり方ではなく、例えば観光協会の中で業務を行う等の検討を行う旨の表現である。また、「事務局構成」は、事務局員が2人とも三次市在住の方であるとのことなので、三次と庄原1人ずつはできないかという意見をいただいていたため、このような表現とした。

委 員：インターネットでこの意見を公表したときにわかりやすいように表現を修正してはどうか。

事務局：「観光協会等との連携による効率的な事務局運営形態」、「事務局員構成」という表現に変更し

たい。

委員長：そのように修正をお願いしたい。

#### 4. 今年度の評価まとめ

#### 資料4

－ 事務局より資料4について説明 －

委員：ホームページ等で公開しているが行政評価事業、評価委員会に対する市民の意見のようなものがあるか。

事務局：市民からの意見のようなものはないが、市議会の一般質問や決算委員会等において評価委員会でどのような意見があったか、どのような見直しをするのかとの質問がある。他市においてもプラモニのようなことをしているのは本市を含め2団体のみであり、市民の方に意見を聴くというのはいいことだと思っている。プラモニ登録者が少ないのが課題であり、インターネット環境も整ってきたので、登録者の増加策に取り組みたい。

委員：プラモニは登録を依頼しているのか、自発的に登録しているのか。

事務局：自発的である。今回、委員会選定を3事業実施したが、市議会から委員会選定事業はどのくらいあるのか質問があり、できるだけ多く評価いただきたいと思っていたので、今回、貴重なご意見がいただけた。

委員：プラモニ登録者は増えているのか。

事務局：徐々に増えており、88人で本年度2、3人増えている。

委員：若い世代の登録状況は。

事務局：高校生、大学生等の若い世代の登録は少ない。30代前半の方でも若いと感じた。

委員：インターネット環境を整えば、意見が言いやすい環境になるので、PRに努めていただきたい。

委員：評価委員会の人数ももう少し多くてもいいのではないか。地域バランスにも配慮されていると思うが、人口の多い地域はもう少し多くてもいいのではないか。

委員：いろいろな分野の方がおられて、視点が異なりいいと思う。例えば高齢者の方も人口的に多いようであれば、高齢者の方に参加いただく方法もある。ただし、この委員会で物事を決めるのではなく、意見を言う場であるのでいいとは思いますが、そのような機会があってもいいのでは。

委員：10人くらいはいてもよいのではないか。

委員：予算の関係もあると思うので、早めに検討いただきたい。

委員：所管課評価について、事業終了した場合の想定される影響などについて触れていただくと評価を行う上で参考になると思う。委員会でもそのような質問が多かったので、検討いただきたい。また、誰が受益者となるのか、この事業での受益者とは誰を指すのか明記しておく必要があるのではないか。

委員：受益者のために事業ができていますので、受益者満足度がCという事業は即終了と考える。担当課も大変であると思うが、終了したら、どうなるか判断しやすい材料で説明いただきたい。担当課の資料は、例えば道順がわかっている人が道路案内看板を設置するようなもので、道順を知らない人からすると看板をみても全然わからないということがあるのと同じで、市民や委員が見たので

はわからないことがある。

委員：開催時期は昨年度に比べ早かったように思う。

事務局：1ヶ月程度早い。

委員：市の事業数は時代時代のニーズに応じて年々増えているのか。

事務局：なかなかスクラップするのが難しいため、率直な委員の皆さんの意見も参考にさせていただいている。

委員：単市事業については、財政状況を勘案すると改善する必要があると思う。

## 5. 閉 会

—行政管理課長あいさつ—

本年度6回の委員会を開催し、公私共にご多用の中、出席いただき貴重な意見をいただいたところです。中には資料や説明の訂正があったり、分かりづらい点があったと思いますが、事業の把握に努めていただき、熱心に意見を出していただきましたことに感謝申し上げます。なかなか、市の内部だけでは、受益者のことも考えると、一旦事業を始めると終了することが難しい。率直なご意見をいただきながら、今回の9事業を再検討していきたい。その他の事業についてもリストアップし、本当に実施すべき事業かどうか検討する機会になっており、本行政評価はいい事業である。来年度以降も行政評価は続けていく方針であるので、引き続きご協力いただけるようお願いし、お礼のあいさつとさせていただきます。

—委員長あいさつ—

2年間、非力ではありますがご協力をいただき、ありがとうございます。委員は精一杯議論を行いましたので、職員の皆さんは効果のある市づくりに貢献していただきたい。今後、寒さに向かっていきますが、体に十分注意いただき、益々のご活躍をお祈りしお礼のあいさつとさせていただきます。